

第18回光が丘第八保育園民間委託化対策協議会
平成17年8月20日(土) 光が丘図書館

協議会検討事項記録

- 議題
- 1 第10回協議会合意事項確認
 - 2 要点記録について
 - 3 事業者決定について

1 第10回協議会合意事項確認

要点記録と協議会検討事項記録を、保護者側委員、区側委員双方の代表により署名。

2 要点記録について

(保護者側) 本日、第10回まで確認、署名が済んだ。保護者側では、11回から13回分まで確認中。区側は、14回から17回分までが作成中となっている。要点記録の速報性を考え、16回以降を先に作成することでどうか。

(区側) 16・17回を先に作成して、14・15回はその後作成する。

3 事業者決定について

(保護者側) 要点記録作成を考え、今回の資料を第18回要点記録に添付して、公開願いたい。

(保護者側) 選定会議は、光八保育園の保育水準をベースにしていない。

(区側) 現地調査部会に区内の私立保育園園長、区立保育園の園長経験者も含んでおり、それを踏まえて審査されている。

(保護者側) 光八保育園の視察を現地調査部会に行っているか。

(区側) 第三者評価機関は、光八保育園を視察してないが、これまでの豊富な経験から十分評価できると考える。園長経験者たちも、この現地調査部会の期間に視察をしていない。

(保護者側) 光八保育園の保育の質を維持すると、部長が最初に区長の代弁者として、話されたはずだ。選定会議、現地調査部会が、光八保育園を実際に見ていないのは、大変残念だ。

(区側) 今回は区なりのプロで固めた。時間も、選定委員会のときの2～3時間に対して、丸一日かけた。それなりの客観性のある評価だと考える。

(保護者側) 評価で最低基準があった場合、審査対象外ではないか。決定事業者への指摘項目は改善されたのか。

(区側) 選定委員会で基準以下の項目があった場合には、合議により判断と決めていた。選定会議も踏襲した。指摘事項と対応策は示したい。

(保護者側) 改善計画については具体的な計画、それから問題点について具体的に示してもらいたい。対応策、改善策がきちんとした形で出てこない限り、保護者の不安が増すだけだ。

(区側) 了解した。

(保護者側) 履行状況チェックシートの作成、障害児保育の研修はしてもらいたい。

(区側) チェックシートを作成して示したい。障害児保育の研修は実施する。

(保護者側) 委託事業者ヒアリングでピジョンは「最大限努力する」と言っている。最大限努力するだけでは困る。プロポーザル募集要領の職員配置基準、年数、人数を守るのか確認したい。

(区側) 努力の先に結果がついてこなければ困るというのが、区の立場だ。

(保護者側) 現状はどうか。

- (区側) 園長、主任は、決まっている。クラスリーダーは、まだ全員が決まっていない。
- (保護者側) 選定委員会で選ばれなかった事業者が選定された。公正なルールでの選定と認識していない。
- (区側) 区は9月1日に、民間委託を本格実施することを議会において約束をした。その責任を果たす必要がある。保護者の理解を得ることも当然だ。
- (保護者側) 保護者の合意を得ないで、そのまま進もうとしている。そのまま行くのか。
- (区側) 9月1日の準備委託は入る。12月の本格委託もスケジュールとして進める。保護者の理解を得るようにしていくよう、今後とも努めていく。
- (保護者側) 前回の健康福祉委員会で、委員から特定の応募事業者の名前を知っているような発言があった。なぜか。
- (区側) わからない。
- (保護者側) 区と保護者が知らないということは、業者が伝えたということか。議員が知っているという時点で、公正さを失っているのではないか。調査して報告してほしい。
- (区側) 結果は話す。
- (保護者側) 本日の資料、説明を光が丘第八保育園保護者に対して、9月1日前までに行うこと。

次回日程 9 / 3 (土) または、4 (日) で調整

以上